

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員がケアを行う上での拠り所となるよう、ホームの目標等も検討いただきたい。運営推進会議を通じ地域・家族・職員との共有化に期待したい。ミーティングや全体会議等で話し合いを重ね、理念とケアが直結されることを期待する。	理念とケアの直結 地域・家族・職員での共有化	初心に戻る。職員の目指す介護の意見より作り出した理念であることを再認識し、理念の根拠をミーティングを通じ勉強する。 運営推進会議・家族会を通じ理念の共有化を図る。	6ヶ月
2	11	家族会の設置を行い、ご家族から意見の言いやすい環境作り。	家族会の設立 意見の言える環境作り	まずは、食事会等で家族を集い、職員・家族のコミュニケーションを図る。利用者家族同士で話す事で色々な意見を言い合えることになる。	6ヶ月
3	2	地域の中で、どのような役割が担えるか具体的に検討いただきたい。気軽に地域住民が立ち寄れる環境作り。	地域住民が気軽に立ち寄れることが出来る環境作り	施設は本部棟を活用し、地域で行なわれているサロンや老人クラブを開催して頂く。認知症カフェを行ない、認知症の家族を持たれ困っている方の憩いの場等にして頂く。又、学校の生徒も気軽に立ち寄れる雰囲気作りを行なう。	12ヶ月
4	4	運営推進会議への入居者が参加されることで、認知症ケア推進の一環とする。	運営推進会議に利用者に参加して頂く	会議開催時、交代で利用者に参加して頂く。学校の先生などにも打診し生徒の参加も呼びかける。 運営推進会議の内容の検討。堅苦しい会議でなく、家族がまた参加したくなるような内容を考える。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。